

【 Kトラワールドシリーズ2018 】

昨年からの変更点は赤色で記載してあります。(カレンダー除く)

1) 開催概要

	開催場所	開催日	参加受付期間	競技形式	軽トラドリフト枠	お試し走行枠
第1戦	オートランド作手 (愛知県新城市)	4月8日(日)	3月12日(月) ~3月26日(月)	サーキットトライアル 形式	有り	無し
特別戦 ※1	つま恋カートコース (静岡県掛川市)	5月13日(日)	4月9日(月) ~5月1日(火)	ジムカーナ 形式	無し	有り
第2戦	鈴鹿ツイン(フルコース) (三重県鈴鹿市)	6月24日(日)	5月21日(月) ~6月4日(月)	スプリントレース 形式	無し	無し
第3戦	スポーツランド山梨 (山梨県韮崎市)	8月26日(日)	7月30日(月) ~8月10日(金)	サーキットトライアル 形式	有り	有り
第4戦	つま恋カートコース (静岡県掛川市)	11月18日(日)	10月22日(月) ~11月5日(月)	サーキットトライアル 形式	無し	有り

※1 特別戦はシリーズポイントが付きません。

- ・特別戦を除く4戦はポイントが付くシリーズ戦とし、4戦のうち3戦分のポイントを有効ポイントとしてシリーズ順位を付けます。
- ・ドリフト走行を楽しみたい人のための「軽トラドリフト枠」と、順位は気にせず雰囲気を楽しみたい人のための「お試し走行枠」を、一部イベントに設定します。お試し走行枠は計測器が付きますが、シリーズポイントは付かず表彰もありません。
- ・軽トラドリフト走行車両も計測器を積んでいただきます。ドリフトをしながらタイムを計測し、該当クラスの順位が付きます。

2) 主催者、大会事務局、申込先

株式会社GT CARプロデュース「軽トラ走行会事務局」  
〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東 14-17  
TEL : 0538-37-6677 FAX : 0538-37-6678 e-mail : info@g-t-produce.com

3) 申込方法

- ・別紙申込用紙に必要事項を記入し、上記の申込先まで郵送のこと。
- ・申込用紙郵送後、3日以内に右記の銀行口座まで参加費を振り込むこと。
- ・申込用紙と、参加費が揃った時点で正式受付となる。
- ・正式受付順で受け付けを行い、定員に達した時点で受付終了とする。定員オーバーとなった場合はキャンセル待ちとなる。
- ・申込期間は1)開催概要の表に記載の通りとする。
- ・キャンセルについては受理書発送までであれば、事務手数料1,000円を差し引いた差額を返金する。  
受理書発送後からイベント前日までは半額を返金する。イベント当日のキャンセルは返金できない。

【振込先】 磐田信用金庫 本店営業部 普通  
5059582 カ)ジーティー カープロデュース

4) 募集台数、走行時間、参加費用など

	開催場所	募集台数	走行時間・本数等	参加費用 (税込み)	弁当	備考
第1戦	オートランド作手 (愛知県新城市)	ワールドシリーズ(グリップ) 24台	約13分×4本	13,000円	付き	
		ワールドシリーズ(ドリフト枠) 8台	約13分×4本	13,000円	付き	
特別戦	つま恋カートコース (静岡県掛川市)	ジムカーナ(軽トラ・バンクラス) 15台	練習1本、本番2本	12,000円※1	付き	諸規則はジムカーナイベントのものに従う
		ジムカーナ(初めてクラス) 5台	練習1本、本番2本	10,000円※1	付き	
第2戦	鈴鹿ツイン フルコース (三重県鈴鹿市)	ワールドシリーズ(グリップ) 30台	フリー走行、 予選、決勝	24,000円	付き	サーキット保険代込み
第3戦	スポーツランド山梨 (山梨県韮崎市)	ワールドシリーズ(グリップ) 32台	約15分×4本	14,000円	付き	サーキット共済費込み
		ワールドシリーズ(ドリフト枠) 8台	約15分×4本	14,000円	付き	
		お試し走行枠 8台	約15分×2本	7,000円	付き	
第4戦	つま恋カートコース (静岡県掛川市)	ワールドシリーズ(グリップ) 32台	約15分×4本	14,000円	付き	入場料込み
		お試し走行枠 8台	約15分×2本	7,000円	付き	

※1 特別戦の詳細は「軽カージムカーナinつま恋2018」の規則書をご覧ください。特別戦は各種割引制度(早割り、ヤング割り、レディース割り)があります。

5) クラス分け/参加できる車両の形状・車高

- ・ワールドシリーズは、以下の8つのクラスに分けてクラスごとに表彰を行いません。(オープンクラスは表彰がありません)
- ・ドリフト参加車両も計測器を搭載して走行し、その車両が該当するクラスの表彰対象となります。
- ・クラスごとに改造出来る範囲が異なるので、後述の車両規則を確認して下さい。

	吸気方式	クラス(略称)	参加できる車両の形状・車高	備考
①	NA	NA ライトチューン(NL) (旧NAビギナー)	軽トラック(車高160cm以上)(ミゼットII含む)	
②		NA チューンド(NT) (旧NAエキスパート)	同上	
③		NA スーパーチューンド(NS) (旧NAS-パ-エキスパート)	同上	
④	ターボ	ターボ チューンド(TT) (旧ターボS)	同上	
⑤		ターボ スーパーチューンド(TS) (旧ターボR)	同上	
⑥	NA	バン・ワゴン NA(V・W N)	軽バンまたは軽ワゴン(車高170cm以上)	
⑦	ターボ	バン・ワゴン ターボ(V・W T)	同上	
⑧	ターボ or NA	オープン(OP)	上記のいずれかの車両 ※1	

車高はカタログの数値(ノーマルの状態)で判断します。

※1 オープンクラスはNA、ターボを問わず、改造が激しい車両は全てこのクラスとなります。

6) ポイント

各戦のクラス順位によって、以下のポイントが付きます。

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1 位	20 点	5 位	8 点	9 位	2 点
2 位	15 点	6 位	6 点	10 位	1 点
3 位	12 点	7 位	4 点		
4 位	10 点	8 位	3 点		

- ・全 4 戦(特別戦は除く)のうち、3 戦のポイント合計してシリーズポイントとしシリーズ順位が決まります。(4 戦参加した人は高い得点 3 戦分の合計となります)
  - ・オープンクラス、お試し走行枠は、シリーズポイントが付きません。
  - ・軽トラドリフト走行会参加車両も計測器を積んでドリフトをしながらタイムを計測し、タイムトライアルの該当するクラスの順位が付きます。
  - ・ドリコンはシリーズポイントが付かず、毎回の単独表彰のみとなります。
- 注1) シリーズ途中でクラス変更した場合は、ポイントは継続されません。シーズン途中で車両を変更しても、同じクラスであればポイントは継続されます。
- 注2) 合計ポイントの同じ人が二人いた場合は、上位ポイントの多い順になります。上位ポイント回数が同じ場合は、最終戦時に獲得したポイントの高い順になります。

7) 一般規則

項目	① NL	② NT ④ TT ⑦ V-W T	③ NS ⑥ V-W N	⑤ TS	⑧ OP
車検・ナンバーの有無	車検付きであること (仮ナンバーは禁止)	同左	同左	車検・ナンバーの有無は問 わない	同左
使用ガソリン	ガソリンスタンドで 販売されているもの	同左	同左	同左	自由
NOS	使用禁止	同左	同左	同左	使用OK

8) 使用出来るタイヤ

	① NL ④ TT ⑦ V-W T	② NT ⑥ V-W N	③ NS ⑤ TS	⑧ OP
セカンドラジアル以下		○	○	○
ハイグリップラジアル		×	○	○
Sタイヤ		×	×	○

※別表1 Sタイヤまたはハイグリップラジアルと定義するタイヤ（＝当社の独断と偏見によります）

メーカー	Sタイヤ	ハイグリップタイヤ
ブリヂストン(POTENZA)	RE-11A 2.0、RE-11S、RE55S、RE540S、RE520S	RE-71R、RE11-A、RE-11、RE-01R、RE-01
ヨコハマゴム(ADVAN)	A050、A049、A048、A039、A038、A032、A021	AD08R、AD08、AD07、AD06
ダンロップ(FORMULA-R、DIREZZA)	03G、β02、RSV98、02G、D01J、D98J、D93J	Z3、Z2、Z1（いずれもスタースペックを含む）
トーヨー(PROXES)	R888R、R888、R881、08R、FM9R	R1R
ファルケン	Sタイヤ該当無し	RT615K、RT615、RT215
GOOD YEAR	Sタイヤ該当無し	イーグル RS スポーツ
クムホ	V710	V700
ハンコック	Z221	R-S3
フェデラル	595RS-RR	595RS-R
ATR	該当無し	K SPORT
ナンカン	AR-1	NS-2R
ネクセン	該当無し	該当無し
ゼスティノ	該当無し	07R*、07A

※上記タイヤ以外でも主催者が判断した場合は使用禁止となる。

※新発売のタイヤで判断が付かない場合は、必ず主催者まで問合せること。

9)安全規定

項目	全クラス共通
オイルキャッチタンク	以下の車両はブローパイからオイルを吹くので、オイルキャッチタンクの装着を義務付ける。 1)DA52T/V/W のターボ車、DA62T/V/W のターボ車、車種問わずターボ装着車、ボルトオンターボ装着車 2)ミニキャブトラック・バン・タウンボックス (U61T/V/W、U62T/V/W)、クリップトラック・バン・リオ (U71T/V/W、U72T/V/W)
4点式シートベルト	4点式以上のシートベルトの装着を義務付ける。 ベルトの幅は問わない。(2 インチでも 3 インチでも良い) 4本のベルトはボルトを使って確実に車両に固定すること。
灯火類	ヘッドライト、ウインカー、ブレーキ等の灯火類は、正常に点灯すること。(灯火類の交換、改造は自由。)

10)車両規則 (それぞれのクラスの、改造可能な範囲について)

■エンジン関係 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑥V-W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V-W T	⑧OP
エンジン本体 ※1	×	×	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	同左
排気量	×	×	○ 660cc 以下※2	○ 660cc 以下※2	○ 660cc 以下※2	○ 排気量アップOK
エンジンパーツ(カム、バルブスプリング、ポート加工、ピストン、コンロッド、クランク、ブロック、ガスケット、オイルパン、等々)	×	×	○ 排気量が変わらなければOK	○ 排気量が変わらなければOK	○ 排気量が変わらなければOK	○ 交換自由 排気量がアップしてもよい
スロットル	×	×	○	○	○	○
キャブ(キャブ化)	×	×	○	○	○	○

インジェクター	×	×	○	○	○	○
EUC(エンジンコンピューター)	×	○	○	○	○	○
サブコン	×	○	○	○	○	○
点火系	×	○	○	○	○	○
プラグ	○	○	○	○	○	○
フルコン	×	×	○	○	○	○
過給機(ボルトオン含む)	...	...	...	スタンダードターボ ※3	チューントターボ ※4	自由
ブーストコントロール装置	...	...	...	○	○	○
過給圧	...	...	...	0.9kg/cm <sup>2</sup> 以下	制限なし	制限なし
燃料ポンプ	×	×	○	○	○	○
燃料タンク	×	×	○	○	○	○
エンジンマウント本体	×	○	○	○	○	○
エンジンマウント位置	×	×	○	○	○	○

※1 軽自動車以外のエンジンを搭載した車両はどのクラスにも参加できない

※2 元が550ccの車は550cc以下であること。

※3 そのエンジンに付いている純正ターボ(エブリイのエンジンならエブリイの純正ターボ)またはターボキット標準品のターボで、容量アップしていない元のままの物。  
S/Cはプーリーの交換は自由だが規定の過給圧を守ること。

※4 上記※3よりも大きなターボ。または上記※3を加工してセンターハウジングを拡大したものも含む。

■冷却系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑥V-W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V-W T	⑧OP
ラジエター、ファン、ホース類、シ ュラウド、導風板	○	○	○	○	○	○
サーモスタット	○	○	○	○	○	○
オイルクーラー	○	○	○	○	○	○

■駆動系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加、取外しOK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑥V-W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V-W T	⑧OP
ミッション(本体、ギヤ比)	×	×	○	○	○	○
ファイナル	×	○	○	○	○	○
LSD(純正品オプション含む)	×	○	○	○	○	○
溶接デフ	×	○	○	○	○	○
ミッションマウント本体	×	○	○	○	○	○
ミッションマウント位置	×	○	○	○	○	○
クラッチ	×	○	○	○	○	○
フライホイール	×	○	○	○	○	○
ドラシャ、ペラシャ	×	○	○	○	○	○

■排気系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑥V-W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V-W T	⑧OP
マフラー ※1 ※2	○	○	○	○	○	○
フロントパイプ	×	○	○	○	○	○
EXマニ	×	○	○	○	○	○
触媒 ※3	×	○	○	○	○	○

※1 各サーキットの基準音量を上回らないこと。2018年はスパ西浦モーターパークでの開催が無いが、スパ西の音量基準「走行時最大 95dB」を満たすことが望ましい。

※2 マフラーは途中でカットしたり、途中で取り外すことは禁止され、触媒位置から1m以上の長さが有ること。

※3 ○印のクラスは、サーキット内で触媒を外して走行することを認める。将来的に触媒は装着を義務付ける可能性あり。

■吸気系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑥V-W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V-W T	⑧OP
エアクリナー(BOX、フィルタ)	○	○	○	○	○	○
その他吸気系パーツ	×	○	○	○	○	○

■サスペンション (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑥V-W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V-W T	⑧OP
ショック、スプリング、アッパーマウント、シャックル、ハブボルト	○	○	○	○	○	○
スタビライザー	○	○	○	○	○	○
アーム、メンバー、アクスル	×	○	○	○	○	○
ブッシュ(硬度強化)	×	○	○	○	○	○
ブッシュ(ピロ化)	×	×	○	○	○	○
トラクションダンパー類	×	○	○	○	○	○



■ブレーキ (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑤ V・W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V・W T	⑧OP
パッド、シュー	○	○	○	○	○	○
その他ブレーキパーツ	×	○	○	○	○	○

■補強 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑥V・W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V・W T	⑧OP
補強パーツ(ボルトオン)	○	○	○	○	○	○
補強パーツ(溶接止め)	×	×	○	○	○	○

■外装 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT ⑥V・W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V・W T	⑧OP
外装パーツ	○	○	○	○	○	○
オーバーフェンダー ※1	×	○	○	○	○	○
荷台本体 ※2	×	×	×	×	×	○
荷台あおり(バタ板)取外し※3	×	○	○	○	○	○
フロントガラス ※4	×	×	×	×	×	×
ドア、背面ガラス	×	×	○	○	○	○

※1 NLクラスはオーバーフェンダーの装着が禁止され、タイヤ&ホイールのはみ出しもNGである。他のクラスはオーバーフェンダーの装着が認められるが、後述の「タイヤ外側～外側間の寸法規定」は守ること。

※2 部品取り付けのための穴あけ加工はOK。取外しは禁止。(OPクラスのみ取外しOK)

※3 NLクラスは、走行時に荷台あおり(バタ板)を付けたまま走行すること。あおり本体の軽量化加工はOK。

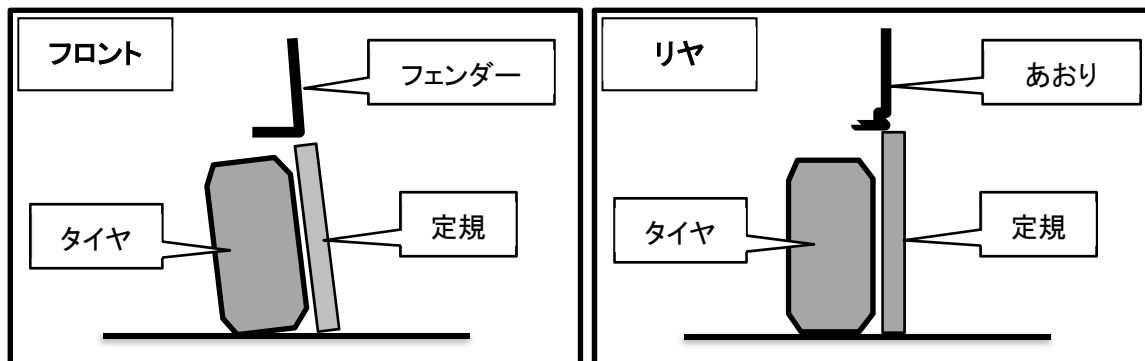
※4 アクリルやポリカといった樹脂素材に変更することを禁止するという意味で、純正相当品のガラス素材品への交換装着は問題ない。

■タイヤ、ホイール（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×：純正標準品のまま）

項目	①NL	②NT ⑥V-W N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V-W T	⑧OP
タイヤ	・使用できるタイヤ銘柄については、前述の一般規則を参照。 ・タイヤサイズは自由だが、次項の「タイヤ外側～外側間の寸法」は守ること。 ・NLクラスははみ出しを禁止する※2。それ以外のクラスは、サーキット走行時のタイヤのはみ出しについては問わないが、公道走行時は道路運送車両法を遵守するよう注意すること。					
タイヤ外側～外側間の寸法 (測り方は図Aを参照)	当寸法規定は設けないが、ノーマルフェンダーからタイヤがはみ出さないこと。 ※2	【旧規格車】 F:1490mm R:1420mm 【新規格車】 F:1570mm R:1500mm	【旧規格車】 F:1550mm R:1530mm 【新規格車】 F:1630mm R:1610mm	【旧規格車】 F:1550mm R:1530mm 【新規格車】 F:1630mm R:1610mm	【旧規格車】 F:1550mm R:1530mm 【新規格車】 F:1630mm R:1610mm	自由
ホイール	・ホイールはサイズも含めて自由とするが、前項の「タイヤ外側～外側間の寸法」は守ること。 ・NLクラスははみ出しを禁止する※2。それ以外のクラスは、サーキット走行時のホイールのはみ出しについては問わないが、公道走行時は道路運送車両法を遵守するよう注意すること。					
ホイールナット	○	○	○	○	○	○
スペーサー ※1	○	○	○	○	○	○

※1 5mm以上厚いものを入れる場合は、ロングハブボルトに変換するなどして、ボルトの掛かり代を確保するように努めること。

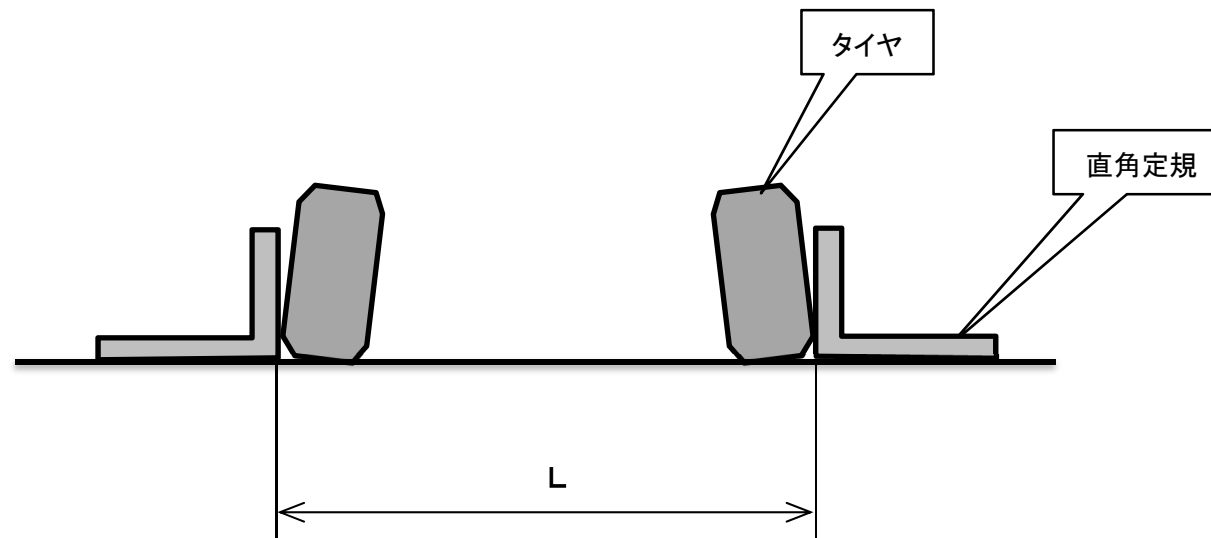
※2 はみ出しの判定は右図の様にタイヤ又はホイールの最も外になる面の延長線が、フェンダーまたはあおりの下部よりも内側に入っているかどうかで見ます。  
(タイヤ又はホイールの最外部に垂直に定規を当てた時、定規の上部がフェンダー内、またはあおりよりも内側に入っていればOKと見なします。タイヤ又はホイールの地面側はフェンダーより外側でもOKです。)



## タイヤ外側～外側間の寸法の測り方

図A

下図の様にタイヤの最も外側に直角定規を当て、その間の距離を測定する。



■内装（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加、取外しOK、×：純正標準品のまま）

項目	①NL	②NT ⑥V・W・N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V・W・T	⑧OP
シート	○	○	○	○	○	○
ドアトリム、ダッシュボード ※1	×	○	○	○	○	○
その他内装品	○	○	○	○	○	○
エアコン・ヒーター	○	○	○	○	○	○

※1 ドアトリムとダッシュボードを外す場合は、金属部をハードスポンジ等の材質で覆い、万一のクラッシュ時に負傷をしないような対策をとること。

■電子パーツ、追加メーター（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加OK、×：純正標準品のまま）

項目	①NL	②NT ⑥V・W・N	③NS	④TT	⑤TS ⑦V・W・T	⑧OP
追加メーター	○	○	○	○	○	○
スロットルコントローラ	×	○	←	←	←	←
その他、エンジンの燃料、点火 に関係の無い電装パーツ ※1	○	○	○	○	○	○

※1 サブコンなど、エンジンコンピューター関係する機器はエンジンの項目に掲載してあります。

■その他

・改造を加えずに調整出来るもの（トーイン、車高調の車高、ショックの減衰ダイヤル、調整式ピロアッパーのキャンバー角、空気圧 等々）については、調整は自由である。

・オイル、フルード、LLC等の液体類は自由。

【問い合わせ先】

株式会社GT CARプロデュース

〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東 14-17

TEL : 0538-37-3366 FAX : 0538-37-6678

e-mail : info@gt-produce.com